

ソーシャルエンジニアリング対策

心理的なスキをつくなど、さまざまな方法でパスワードなどの重要情報を盗み出す方法がソーシャルエンジニアリング。スキにつけ込まれないようご用心!

オフィス内での盗み見に注意!



ゴミ漁り(トラッシング)から情報収集は始まる

外部からネットワークに侵入する際に、事前の情報収集として行われるトラッシング。捨てられたゴミから情報を探し出します。



対策 廃棄書類はシュレッダーにかける、溶解するなどの処理を行う。

電話でパスワードを聞き出す手口



対策

- いったん電話を切って折り返し連絡、本人確認をしたうえで質問に答える。
- 公衆電話など、本人が特定できない電話からの問い合わせには応じない。
- 情報セキュリティポリシーなどに、「ID、パスワードの再発行は、本人が直接システム担当部署に出向いて手続きを行う」などの規定を作成する。

SNSの情報公開がショルダーハッキングを招く

出張先やセミナー参加先で重要情報がのぞかれる可能性も。



対策

- SNSでは、限られた相手への限られた情報公開を徹底する。
- なりすましにも注意する。

※ショルダーハッキングとは肩越しに画面情報を見ることが